



はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します

地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます

常に新しく良質な医療ができるように心がけます

皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

- 1.気づきの医療
- 2.わかりやすさ



夏祭り：1病棟、2病棟



1病棟は平成28年8月17日、2病棟は8月3日に
病院内で夏祭りを行いました。



1病棟は阿波踊り、ギター演奏による合唱大会、2病棟は、新人
による手品の出し物や合唱、くじ引き大会が行われ、大いに盛り
上がりました。また、暑い夏の日でしたが、金魚の氷細工や患者
様によるスイカ割りで会場が和み、涼しさが加わりました。

また、今回のスイカ割りでは、脳梗塞により手足が思うように動か
なくなったり、入院時には立てる事すら難しかった患者様が、日々
の厳しいリハビリを乗り越え、自らの足で立ちスイカを割るなど日々
のリハビリの成果を発揮することが出来た場面にもなりました。今
後も毎年開催し、患者様に楽しんでいただき、夏の暑い日を楽し
切る良い機会になればと願っています。



▲新人による手品



▲1病棟スイカ割り



▲金魚の氷細工



▲2病棟スイカ割り

ボランティアのご協力

ボランティアのご協力をしていただけられる方を募集しています！

内容として・・・（踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など）

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先：0875-63-3311 担当者：宮本 美恵子
メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先：0875-23-3311 担当者：森 香代子
上記の担当者までお問い合わせ下さい。

ソーシャルワーカー

自宅の住宅改修について（介護保険利用）

介護が必要な身体になったとしても、何十年も家族と暮らし住み慣れた自宅でこれからも暮らしたい...というのは、本人にとっても家族にとっても、ごく自然な思いです。そこで**介護保険には、介護に必要な「特定の住宅改修」にかかった費用（住宅改修費）の支給を行う制度**があります。介護保険の**住宅改修の対象となる工事**は以下の**6項目に限定**されています。

介護保険が適用される住宅改修

 <p>1. 手すりの取付 トイレ・浴室・洗面所・廊下 玄関まわり・階段など</p>	 <p>2. 床段差の解消 玄関・廊下・階段・トイレなど</p>	 <p>3. すべりの防止 階段・浴室 玄関まわり・和室など</p>
 <p>4. 引き戸等への取り替え トイレ・浴室など</p>	 <p>5. 洋式便器等への取り替え トイレ</p>	 <p>6. 付帯して必要な工事 トイレ手すり設置のための下地工事など</p>

- 要支援・要介護を問わず
「1人あたり20万円まで」
※ただしその1割もしくは2割が自己負担額
上限額なので何回かに分けて使うことも可能
- 支給は本人が住んでいる家について**1回きり**
※例外として「要介護度が三段階（要支援は四段階）上がった時や、転居した時は再び利用することが出来る。

気になる方は病棟の
ソーシャルワーカーまでお尋ね下さい



認知症治療病棟

認知症とは？

認知症治療病棟は、重度の精神症状（認知症周辺症状）のため、日常生活を営むことが難しくなった方を対象として、その精神症状の治療を目的に治療を行っております。

認知症とは、それまでに発達した知能が脳の後天的障害等により低下して、日常生活に支障をきたすようになることです。症状は中核症状（短期記憶障害、見当識障害、失行・失認、実行機能障害等）に認知症周辺症状が合わさって出現します。出現する症状は人によって異なることが多いです。



当院では、物忘れ外来を行っております。
診察は予約制になりますので、お困りの場合は事前に
外来受付（0875-63-3311）まで御相談ください。
ご家族のみでの外来受診も可能です。

通所リハビリテーションセンターはしもと

〈調理療法〉 デイケアでは季節の食材を使って調理練習を行っています。
みんなで協力しながら作るのをお互いできないことを助け合い楽しみながら作っています。

梅干し作り

- ①洗う
- ②ヘタ取り
- ③塩づけ
- ④天日干し



茄子のからし漬

- ①醤油と麴をまぜる
- ②茄子を塩切り
- ③醤油・麴・からし・酢を混ぜる



次ははしもと畑でとれた野菜を使って調理療法ができるように、畑の準備を行っています。

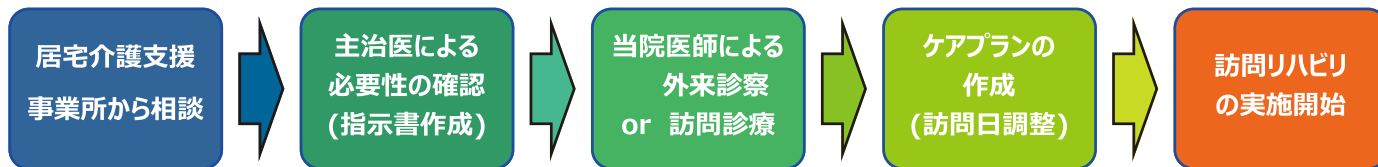
訪問リハビリテーションセンターはしもと

訪問リハビリについて

訪問リハビリでは、ADL自立、介助量軽減の為の機能訓練だけでなく日々の活動や社会参加の獲得に向けリハビリを提供しております。在宅生活では筋力を維持する為の筋トレも止めてしまえば元に戻ってしまう為、日々の活動性を高める事が重要になります。そこで、訪問リハビリでは介護保険によるサービスだけに頼るのではなく、利用者様のライフスタイルにあった活動の再獲得を図ることで、日々の活動量を向上させ元気な身体作りが行えるように支援させて頂いております。

訪問リハビリ利用開始までの流れについて

介護保険利用による訪問リハビリテーション実施までの主な手順を御紹介します。



提供日・提供時間・提供地域

- 提供日 : 365日 (12月31日～1月3日は除く)
 提供時間 : 月～日 午前9時～午後5時
 提供地域 : 三豊市、観音寺市、仲多度郡、善通寺市、丸亀市の区域
 ※中山間地区とされる指定地域(A地域)を除く。
 種類 : 指定訪問リハビリテーション・平成27年6月1日
 (香川県第3710810106号)

空き枠は埋まりつつあります。
ご希望の方はお早めに御相談下さい。

事前訪問、ご質問等お気軽にご連絡下さい!

訪問リハビリテーションセンターはしもと
 センター長: 佐藤勇人
 電話: 0875-63-3800(直通)
 0875-63-3311(病院代表)
 0875-63-2651(FAX)



体重免荷式歩行器(POPO)導入

8月上旬に体重免荷式歩行器(POPO)が当院に導入されました。整形外科疾患や脳血管疾患、脊髄損傷疾患の患者様に対して、簡単な操作で訓練場所を選ぶことなく歩行練習が行えます。器具を用いて体を持ち上げることで、患者様は転倒の不安なく安心して歩くことができます。

例えば、荷重制限のある方に対しては、免荷量を調整できるため、痛みの少ない状態で徐々に歩く距離を延ばすことができます。また、離床することが困難で訓練をなかなか進めることが出来なかった患者様に対しても、早い段階から積極的に立位練習や歩行練習が行えます。

患者様の歩くことに対する不安感や身体的な負担感が抑えられ、訓練に対する意欲と積極性が生まれ、良い結果をもたらすことが出来る歩行器を有効に活用していこうと考えています。



免荷式歩行器の利点

簡単な
操作

転倒リスク
軽減

訓練場所
を選ばない

健康教室

香川県理学療法士協会からの依頼で 健康教室をおこないました。

テーマ：痛みを知ろう～ひざ痛と腰痛の予防と改善～

日時：平成28年9月12日（月）13:30～14:30

場所：竹田土井園公民館

対象：むつみ会土井の会員

参加人数：13名（男性6名、女性7名）

ひざ痛、腰痛について、病態から予防と改善についての講義に加え、手軽に行えるストレッチや運動を実際に行なってもらいました。少人数なので直接指導できたのは良かったと思います。参加者は75歳以上の方がほとんどでしたが、講義では熱心にメモをとられたり、積極的に運動される方が多かったです。運動は無理なく痛みの無い範囲で継続していただけたらと思います。



栄養部

イベント食をご紹介します！

ごちそうの日 (赤飯)



赤飯 鮎の塩焼
煮物 おぼろ汁
夏みかんゼリー

ごちそうの日 (寿司)



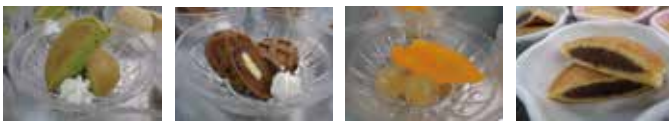
散らし寿司 焼魚(秋刀魚)
小松菜のおかか和え
きのこの清汁 ようかん

病棟バイキング



通所リハ

おやつバイキング



毎月1日：お寿司の日

毎月16日：赤飯の日

(提供月が誕生日の方の祝い膳)
その他季節のイベントメニュー等提供し
ています。次回をお楽しみに!!



防火防災委員会

普通救命講習会 開催！

去る平成28年8月25日、26日の二日間、三観広域行政組合北消防署から2名の救命救急士の方にお越し頂き普通救命講習会を開催致しました。今回は、新人17名と更新者16名の参加がありました。

私達が自然災害や事故、急病の場面に遭遇した時、何が出来るか、どうすればよいか、近くにいる方々と協力する大切さを学ぶことができました。講習会の殆どの時間、要救護者の観察ポイントや出来る事柄、その手順、気道確保の方法、心臓マッサージの方法、AEDの使い方を実践しました。このような取り組みを通し少しでも地域社会のお役にたてればと考えております。



地域連携部

平成25年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成28年7月-8月の実績（回復期リハビリテーション病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：7月【20件】、8月【26件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：7月【3.4日】、8月【4.8日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：7月【12.4日】、8月【19.3日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は12日（2～35日）です。**大変お待たせして申し訳ございません。**

対象となる方

- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症 腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸随損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。

**リハビリは
365日、1日3時間**

提供させていただきます。また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。



入院相談はお気軽にご連絡下さい!

橋本病院 地域連携部
窓口：大西宏美
電話：0875-63-3552(直通)
0875-63-3311(代表)



平成28年7月 認知症治療病棟が
7床増床され67床になりました!



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。



事務部

～診療実績(H28.8月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	27.8人	59.1人	34.5人	30.4人
平均在院日数	70日	89日	284日	367日
在宅復帰率	79.1%	84.9%	-	-

**! H28.10月より!
★インフルエンザ予防接種が始まります★**

ご希望の方は、当院受付窓口又はお電話にて予約を承っております。お気軽にお問い合わせください。TEL：0875-63-3311
* 65歳以上の方は、市役所から届くお知らせをご確認のうえ
予診票をご持参ください。



～予防接種を受ける時期～

インフルエンザワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われています。

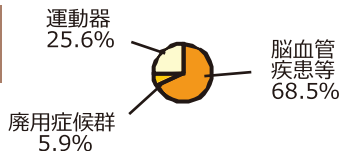
年によって異なりますが一般的に日本では12月頃からインフルエンザの流行が始まることを考えると、12月頃までに接種を完了することが望めます。

《かぜとインフルエンザの症状のちがい》

	かぜ	インフルエンザ
症状の出方	のどや鼻	全身に出る
発熱	38度前後の微熱	39-40度の高熱
寒気	軽くある	強い
鼻水	ひきはじめに出る	あとから出る
せき	軽く出る	たくさん出る
頭痛	痛みが軽い	痛みが強い
筋肉・関節痛	痛みが軽い	痛みが強い



入院患者疾患別
リハビリテーション
内訳



第6回合同研究大会

平成28年8月31日（水）箕面市多文化交流センターで開催されました！

合同研究大会って？

平成23年から、病院間の交流、学会発表の喚起、プレゼンテーションの質の向上を図る目的で、前年度に学会発表をしたなかの優れた演題を複数題選び、あらためて学会形式で発表する大会です。当初は同一法人の千里リハビリテーション病院と和風会合同研究大会として行なっていましたが、第3回から埼玉県富家病院、山口県光風園病院が加わり、合同研究大会と大会名が変わりました。開催は年1回、会場は橋本病院と千里リハビリテーションの持ちまわりで行なっています。



結果は？

今年はなんと、当院の西岡明日香STが「VFによる嚥下機能評価に栄養評価を加えて嚥下訓練を実施し常食の経口摂取可能となった一症例」で2位を獲得しました！2位の賞品は3万円分の商品券。おめでとうございます！！

1位は千里リハビリテーション病院で、賞品は海外研修です。

ちなみに昨年の1位は当院の放射線技師でした。



第21回PEG・在宅医療研究学術大会

会期：平成28年9月3日（土）

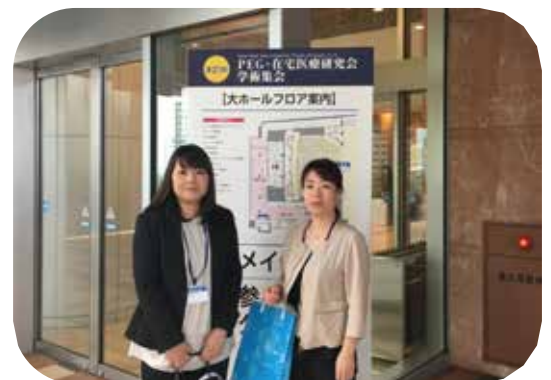
会場：かがわ国際会議場、サンポートホール高松

この度の学術集会の会長は、当院の顧問・千里リハビリテーション病院副院長である合田文則先生がつとめられ、当院からは看護師2名が発表しました。

「PEG導入により在宅生活が現実となった」高城洋子

「PEGの効果～在宅復帰、そして食べられる～」藤目幸代

この学術集会を通して「胃瘻」＝「終末期」ではなく、胃瘻は薬、水分、栄養の供給ルートの一手段であり、積極的にリハビリをするために必要と感じました。



医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902-1
TEL: 0875-63-3311
FAX: 0875-63-2651
入院相談直通電話: 0875-63-3552
E-mail: wafukai@gaea.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://www.wafukai-hashimoto.jp>
発行元: 橋本病院 広報委員会

医療 回復期リハビリテーション病棟 89床
認知症治療病棟 67床
介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所
通所リハビリテーションセンターはしもと
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

